

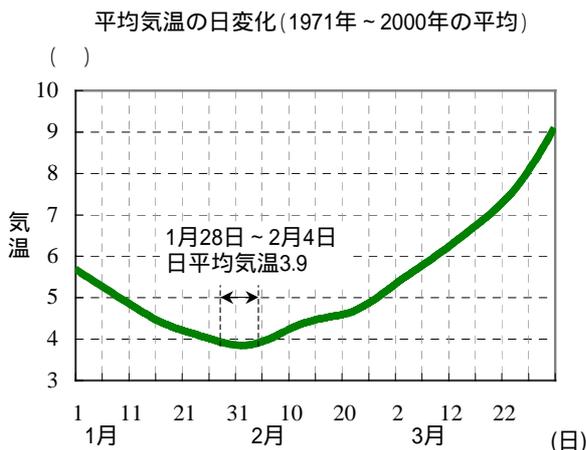
日 立 の 気 象 1 2 0

春の気配

大寒から 15 日目、立春の前日を節分といいます。もともとは季節を分けるという意味から、立春、立夏、立秋、立冬の前日をさし、四季の分かれ目を意味していました。現在では、春の節分だけを「節分」と呼ぶようになりました。これは、旧暦の時代には立春正月などといい、一年の始まりを立春付近に求めたことから、その前日は年の最後の日という意味合いを持つようになり、他の 3 つの節分より重要な位置を占めるようになったためと考えられます。

このように、翌日から年の初めであるということ、気候が冬から春になるということで、この日は一年の最後と考え、邪気をはらい、幸せを願う鬼やらいの行事が行われ、節分の豆まきとして現在にも伝わっています。

日立市における 1 年間の気温の変化を見ると、節分を含む 1 週間が 1 年で最も気温の低い時期になっていて、日平均気温は 30 年間の平均で 3.9 となっています。



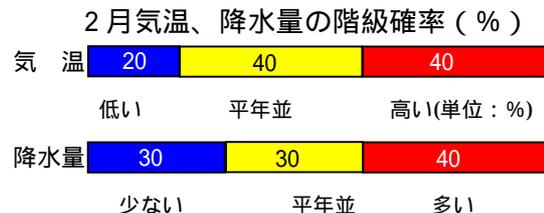
節分を過ぎると気温は徐々に上がっていきませんが、2月中は冬型の気圧配置になることが多く、寒い日が続きます。2月末の日平均気温は 5.2 で、節分の頃に比べて 1.2 しか上がりません。10日に1 の割合で気温が上がり、暖かさが感じられるようになってくるのは3月に入ってからとなります。

【2月の暦と気象記録】

- 4日、立春(春の気配が感じられる)
- 18日、雨水(陽気がよくなり、雪が雨に変わる)
- 1984年2月18日：最深積雪 19cm
(観測記録順位第1位、南岸低気圧)
- 1955年2月12日：最低気温-7.5
(観測記録順位第1位、冬型の気圧配置)
- 1957年2月7日：日最大風速 19.9m/s
(観測記録順位第2位、南岸低気圧)

【関東甲信地方の2月の予報】

季節予報では、平年に比べて曇りや雨または雪の日が多いと予想されます。また、気温は平年並みから高いと予想されます。



2月の気象観測値(日立市役所)

項目	2008年	平年値
平均気温()	4.0	4.4
降水量(mm)	47.0	61.9
日照時間(時間)	203.7	173.0

平年値(1971～2000年の30年間の平均)

日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso>
行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。